



# ICTを利用した教育を 振り返る

名古屋大学 副総長(教育・留学生担当)

藤巻 朗

謝辞

本講演資料をまとめるにあたり、名古屋大学教養教育院ハイブリッドラーニングセンターの教員、ならびに同院職員の皆さま方、教育基盤連携本部の教職員の皆さま方にご協力いただきました。感謝いたします。

# 本日の内容

- COVID-19感染拡大防止に向けた名古屋大学の教育面での取り組み
- 全学共通教育でのアンケート結果
- 成績評価手法

# COVID-19対応のまとめ

- 春学期の講義・演習は、LMS管理のもと、すべてICTを利用する遠隔授業へ。
- 講義・演習の教材については、データダイエットの視点から、**音声付PPT**を推奨。
- 必要に応じ、ZOOM等の利用も可。同時双方向型の講義・質疑応答のほか、動画のオンデマンド配信にも利用。
- 緊急事態措置解除後に用意したアクセスポイントの利用者は限定的。データダイエットの効果か？
- 実験・実習は、緊急事態措置解除後に多くは対面で実施。
- 全学共通教育を担う教養教育院では、**実験・実習も同時双方向通信で実施**。
- NUCT(名古屋大学のLMS)上の小テスト機能等を使って、**すべての講義で課題(宿題)を指示**。これへの回答で、教員は参加状況を把握。

# 遠隔授業実施に関する中間アンケート

## ■ 趣旨

- ◆ 春学期後半に向け講義実施ノウハウをフィードバック
- ◆ 課題の抽出、改善

■ 対象：教養教育院・授業担当教員および学生

■ 分析：名古屋大学教養教育院ハイブリッドラーニングセンター  
山里敬也、小松雅宏、古泉 隆の各先生

■ 実施時期：5/25～6/7 まで(2週間)

■ 実施方法：NUCTの小テストによる選択＋自由記述欄

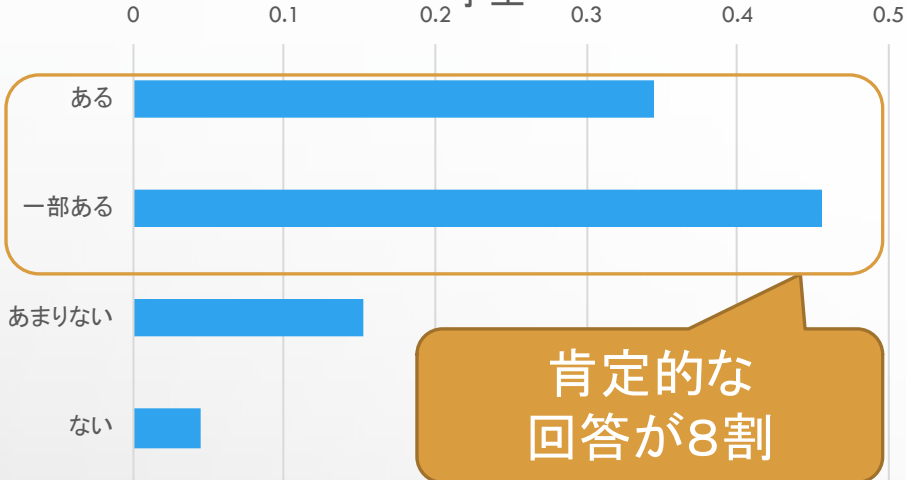
## ■ 回答率

◆ 学生： **$3302/4471 = 73.9\%$**

◆ 教員： **$412/664 = 62.1\%$**

# Q4: インターネットを活用した遠隔授業による学習のメリットを感じたことがありますか。

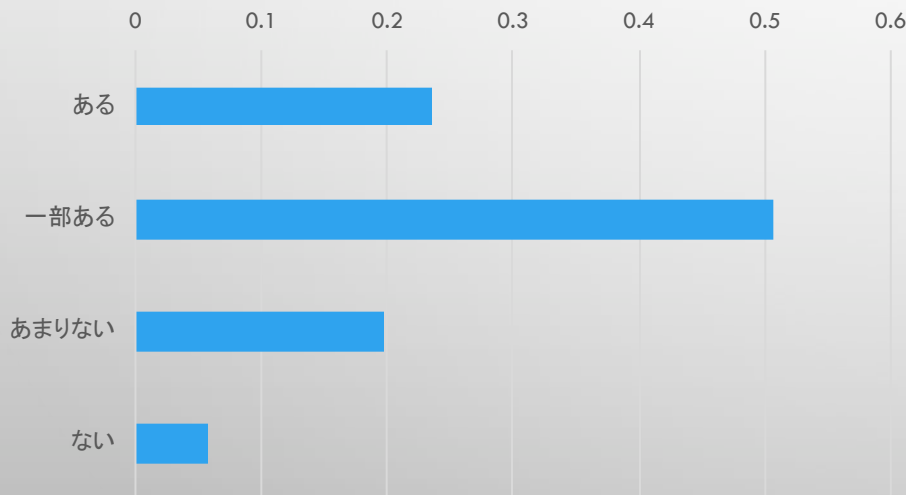
学生



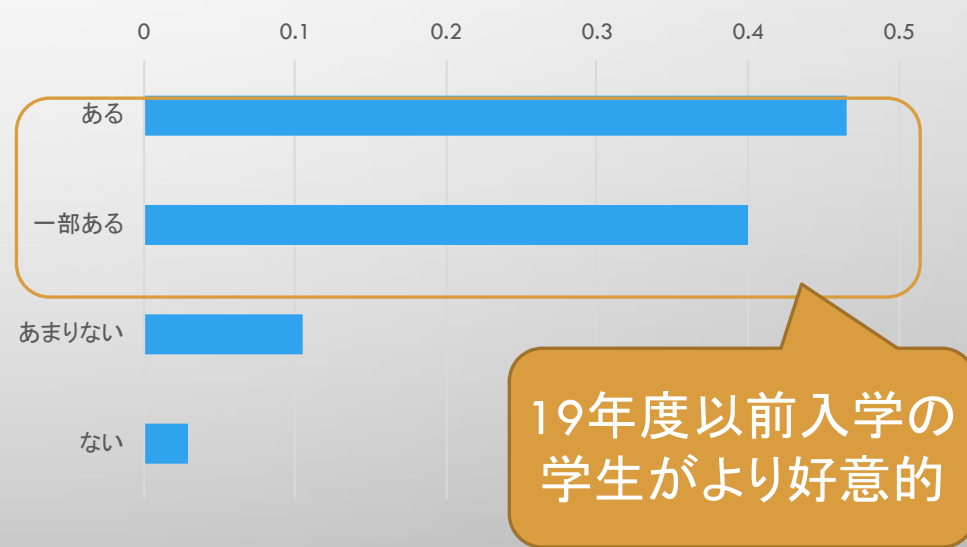
教員



20年度入学



19年度以前入学



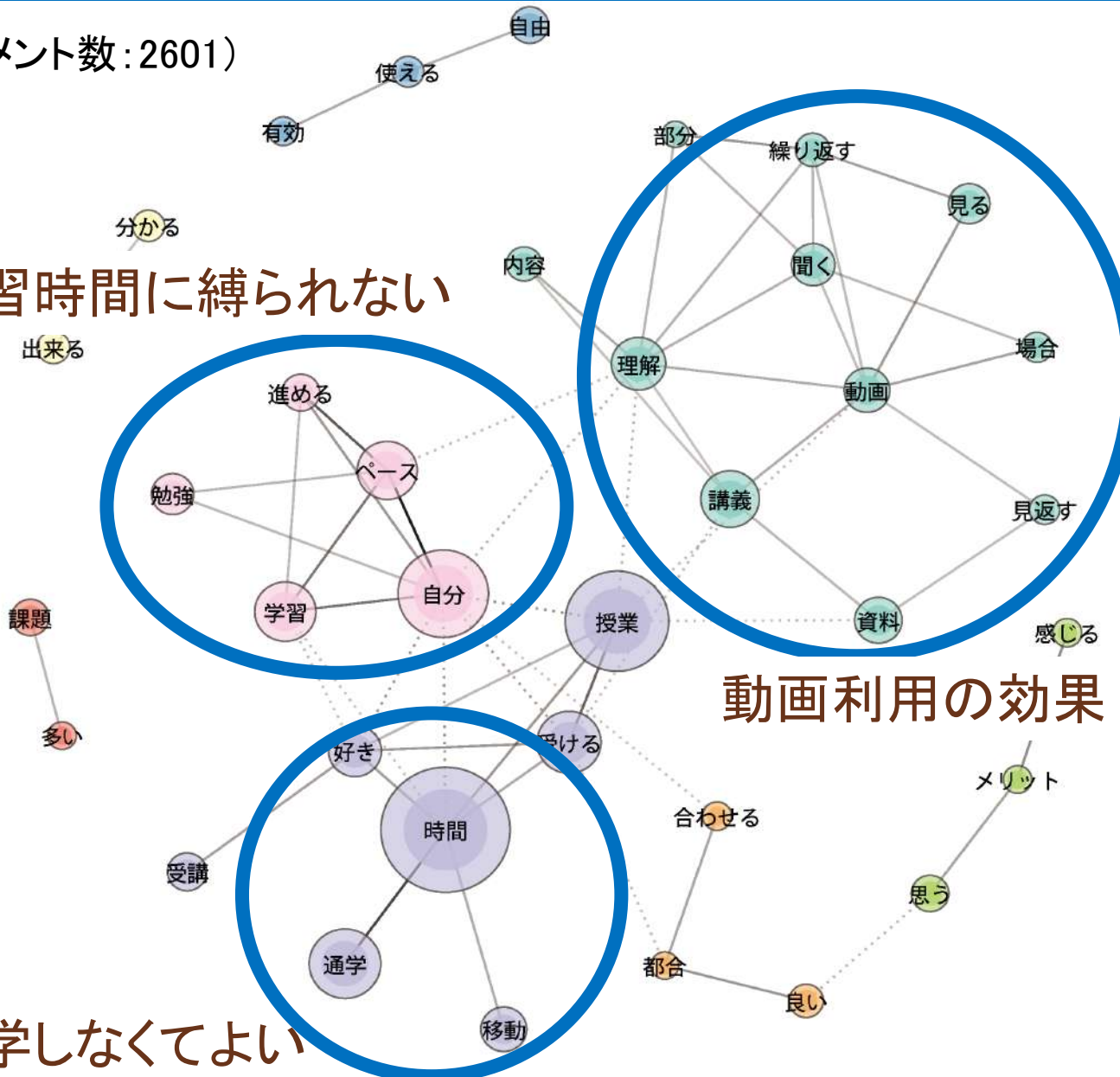
# Q4で「ある・一部ある」と回答した学生の理由記述の共起ネットワーク

(コメント数: 2601)

## 学習時間に縛られない

## 動画利用の効果

## 通学しなくてよい



★円(黒縁)の大きさはコメント中の単語出現数を示す

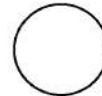
★円を結ぶ線は共起関係を示す

★青丸の囲いは共起関係をもとにした人手によるコメント分類

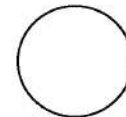
Frequency:



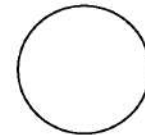
250



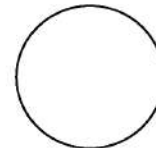
500



750



1000



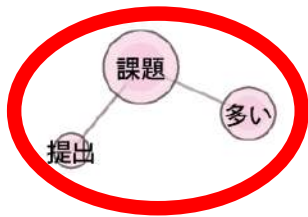
1250

単語出現数スケール

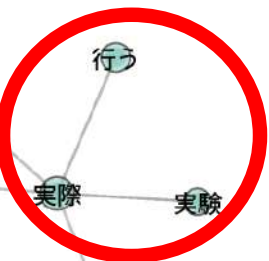
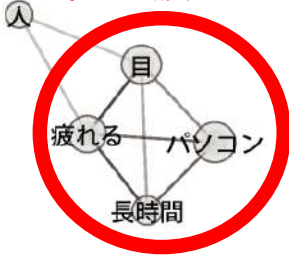
# Q4で「ない・あまりない」と回答した学生の理由記述の共起ネットワーク

(コメント数: 360)

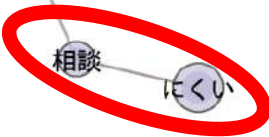
課題提出が多い



目が疲れる

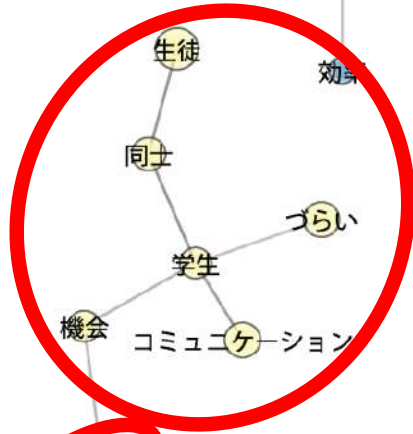


実験できない

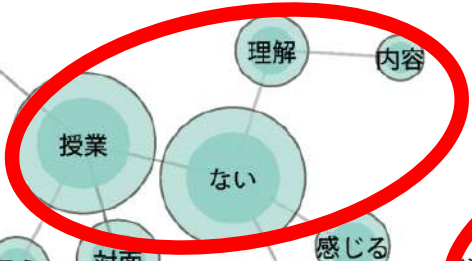


相談しにくい

コミュニケーション  
取りづらい



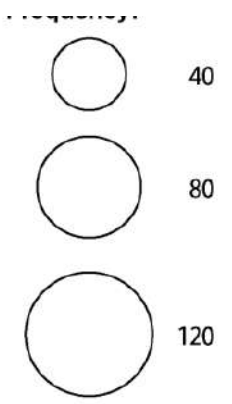
授業理解できない



やる気でない



- ★円(黒縁)の大きさはコメント中の単語出現数を示す
- ★円を結ぶ線は共起関係を示す
- ★丸の囲いは共起関係をもとにした人手によるコメント分類



単語出現数スケール

# アンケートのまとめ 1/2

## ■インターネットを活用した遠隔講義

### ◆学生・教員ともに8割が肯定的

- 肯定的: 動画の利用、学習時間に縛られない、  
通学しなくてよい
- 否定的: 課題が多い、実験できない、やる気がでない、  
授業理解できない、相談できない、目が疲れる

## ■ポイントはコミュニケーション

### ◆意見・質問・発表機会

- 多いほど メリットを感じる学生が増加
- 少ないと 一人学習の孤独感・不安感、教員とのコミュニケーション、学習内容が理解・満足できない、と感じる傾向



## アンケートのまとめ 2/2

### ■勉強の場への要求

◆**図書館**の利用(2年生以上)

### ■グッドプラクティス(コメント数:2071)

◆動画を利用した講義、**説明・質問への回答が丁寧**、音声付きスライド、内容が面白い、理解できる、コミュニケーションの機会が多い、グループワーク

### ■バッドプラクティス(コメント数:61)

◆資料の配布のみ、映像・音声なし、メール返信・フィードバック無し、**評価方法が分からない**、質問の機会なし、長いZOOM授業

## ちょっと待てよ

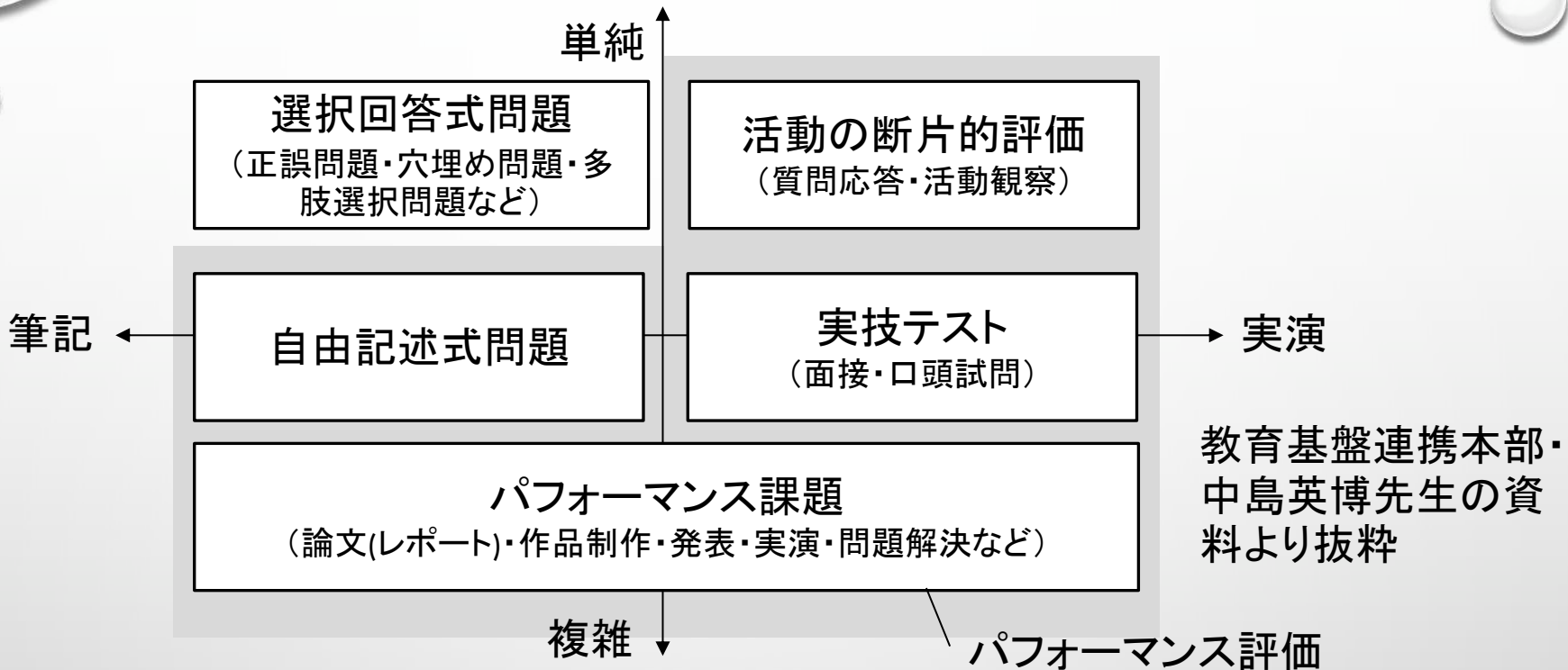
- 本当に今のICTを利用した遠隔講義は効果的なのか？
- 効果があったのは、教員がいつもよりエネルギーを割いたせいではないのか？

間違いなくICTを利用した教育で意味のあったことは、

- **時間の有効利用**
- **先生の生の声の入った教材をいつでも、どこでも、何度でも**
- (他の学生の声などの)雑音が入らず、集中可
- カメラなどのデジタルツールの活用による**新たな教授法**(外国語など)

# 成績評価方法

- ICTによる遠隔講義(全学共通科目)においても形態はさまざま



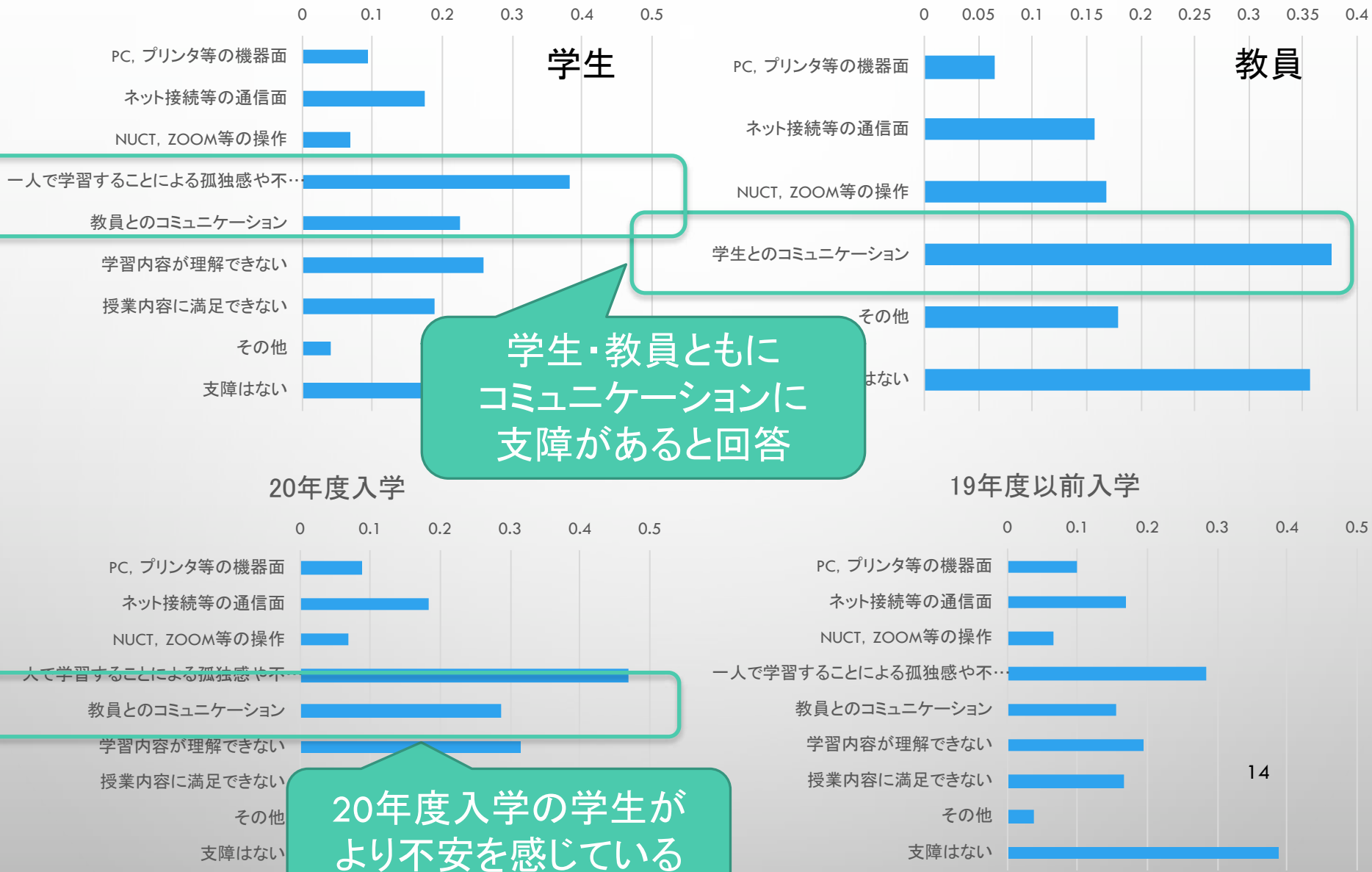
- 課題
  - ポストコロナ時代に向け、多彩な評価方法による総合的評価
  - それを支えるFD
  - E-PORTFOLIOなどによる学習到達度の可視化

# ポストコロナ時代の教育を見据えて

- すべて対面授業のかつての形態には戻らない
- 2020年度は、**CYBER-PHYSICAL LEARNING**へ向けた「デジタルベース教育トライアル期間」
- 遠隔授業と対面授業のベストミックスを模索し、それを支える体制も強化

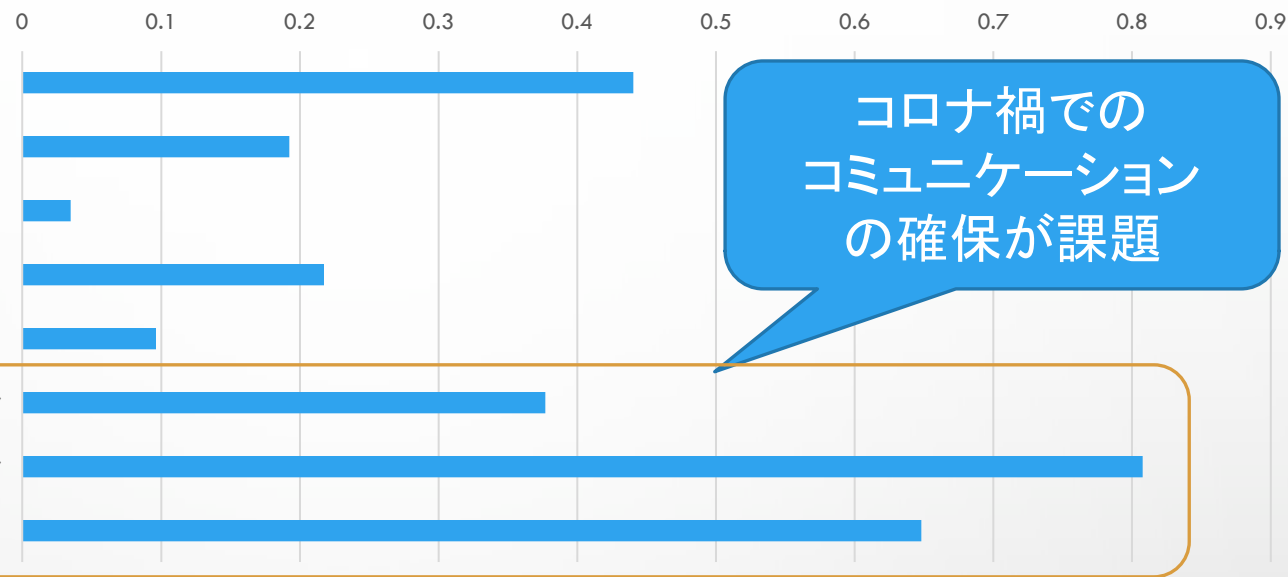
# 参考資料

# Q1: 自宅でのインターネットを活用した遠隔授業による学習で支障のあることは何ですか。(複数回答可能)



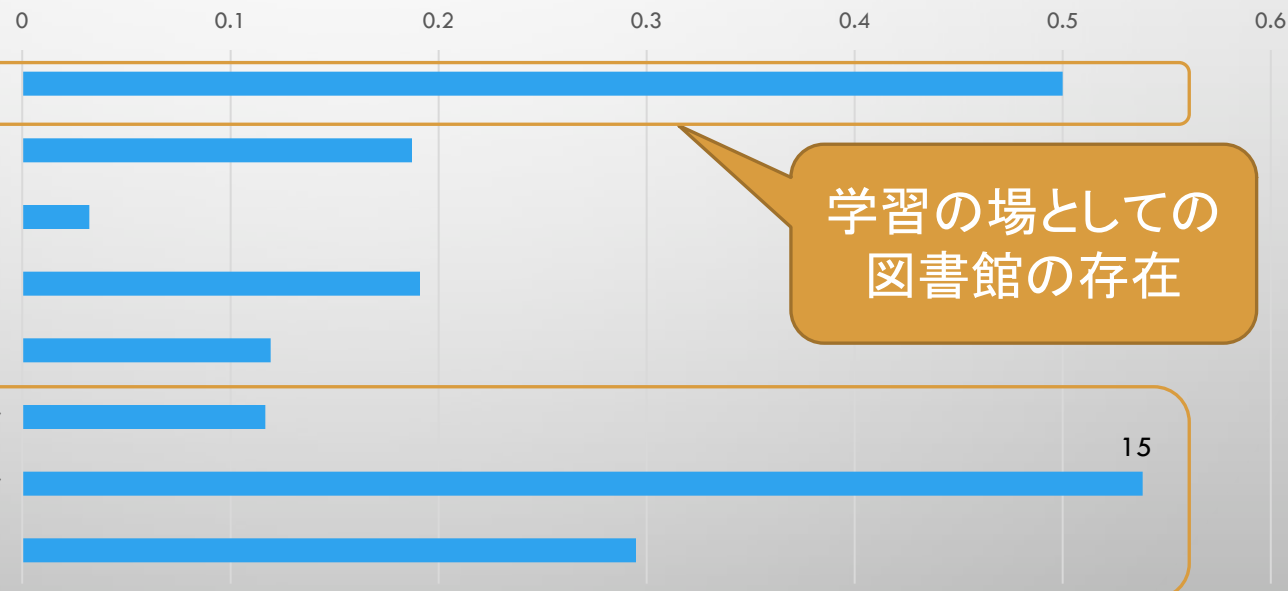
# Q8: 構内への入構制限により困っていることはありますか？(複数回答可能)

## 20年度入学



コロナ禍での  
コミュニケーション  
の確保が課題

## 19年度以前入学



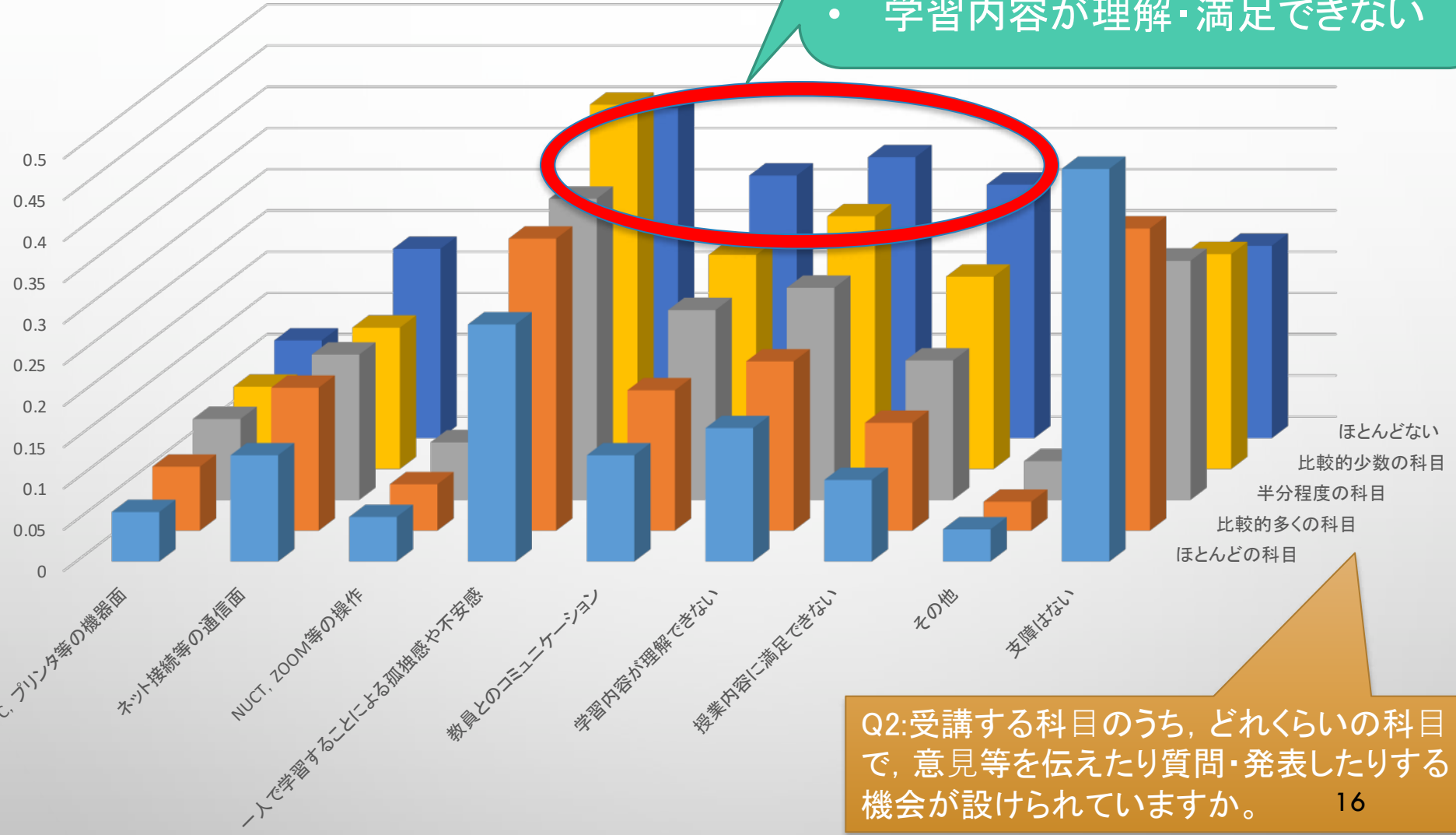
学習の場としての  
図書館の存在

# Q2とQ1の相関分

意見・質問・発表機会が少ないほど

- 一人学習の孤独感・不安感、
- 教員とのコミュニケーション、
- 学習内容が理解・満足できない

■ほとんどの科目 ■比較的多くの科目 ■半分程度の科目



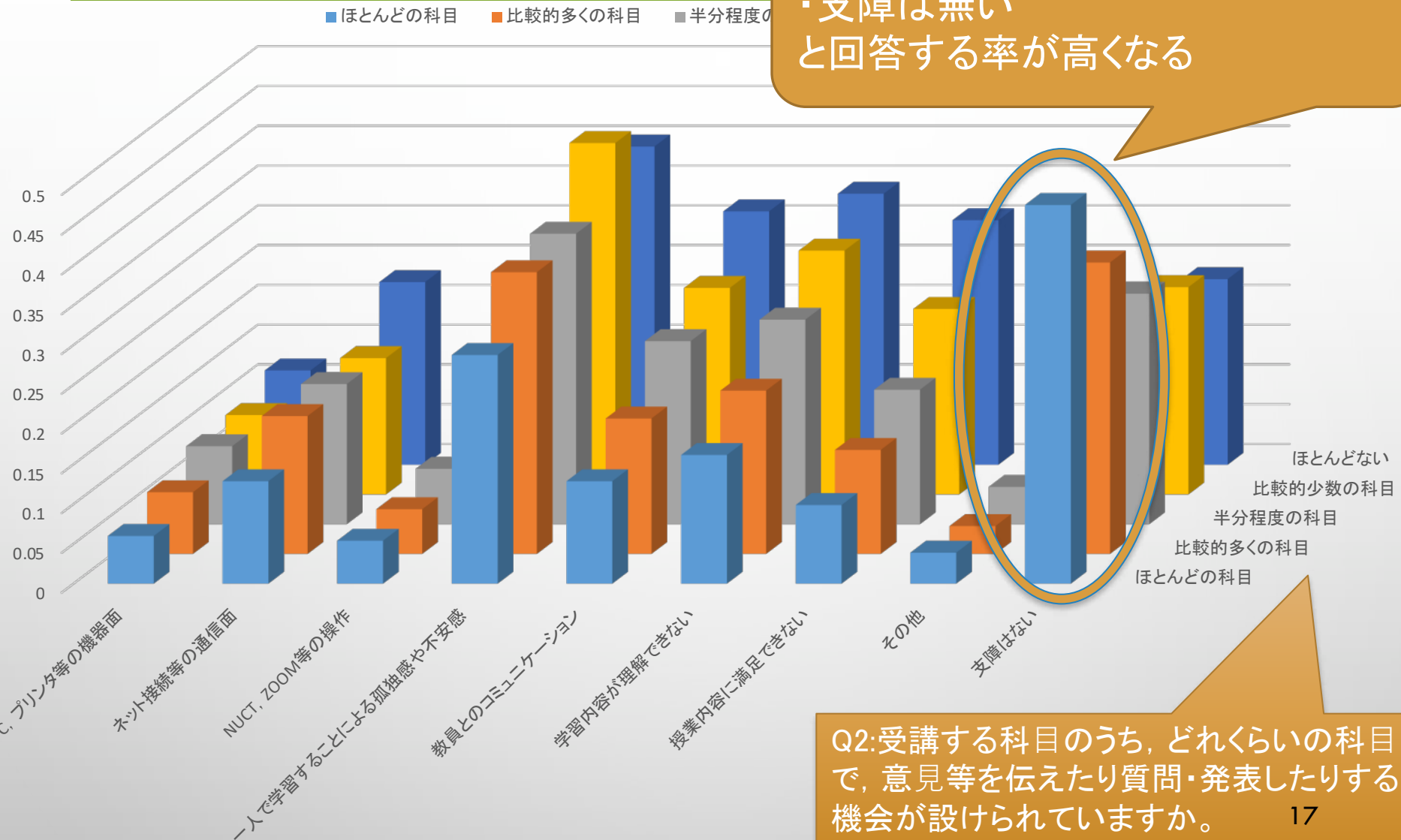
Q2:受講する科目のうち、どれくらいの科目で、意見等を伝えたり質問・発表したりする機会が設けられていますか。 16

Q1:自宅でのインターネットを活用した遠隔授業による学習で支障のあることは何ですか。



## Q2とQ1の相関分

意見・質問・発表機会が多いほど  
・支障は無い  
と回答する率が高くなる



Q2:受講する科目のうち、どれくらいの科目で、意見等を伝えたり質問・発表したりする機会が設けられていますか。 17

Q1:自宅でのインターネットを活用した遠隔授業による学習で支障のあることは何ですか。

Q8 困っていること・自由記述(コメント数:283)

課題・レポートで資料等必要

大学の友達がいない・できない

食堂利用できない

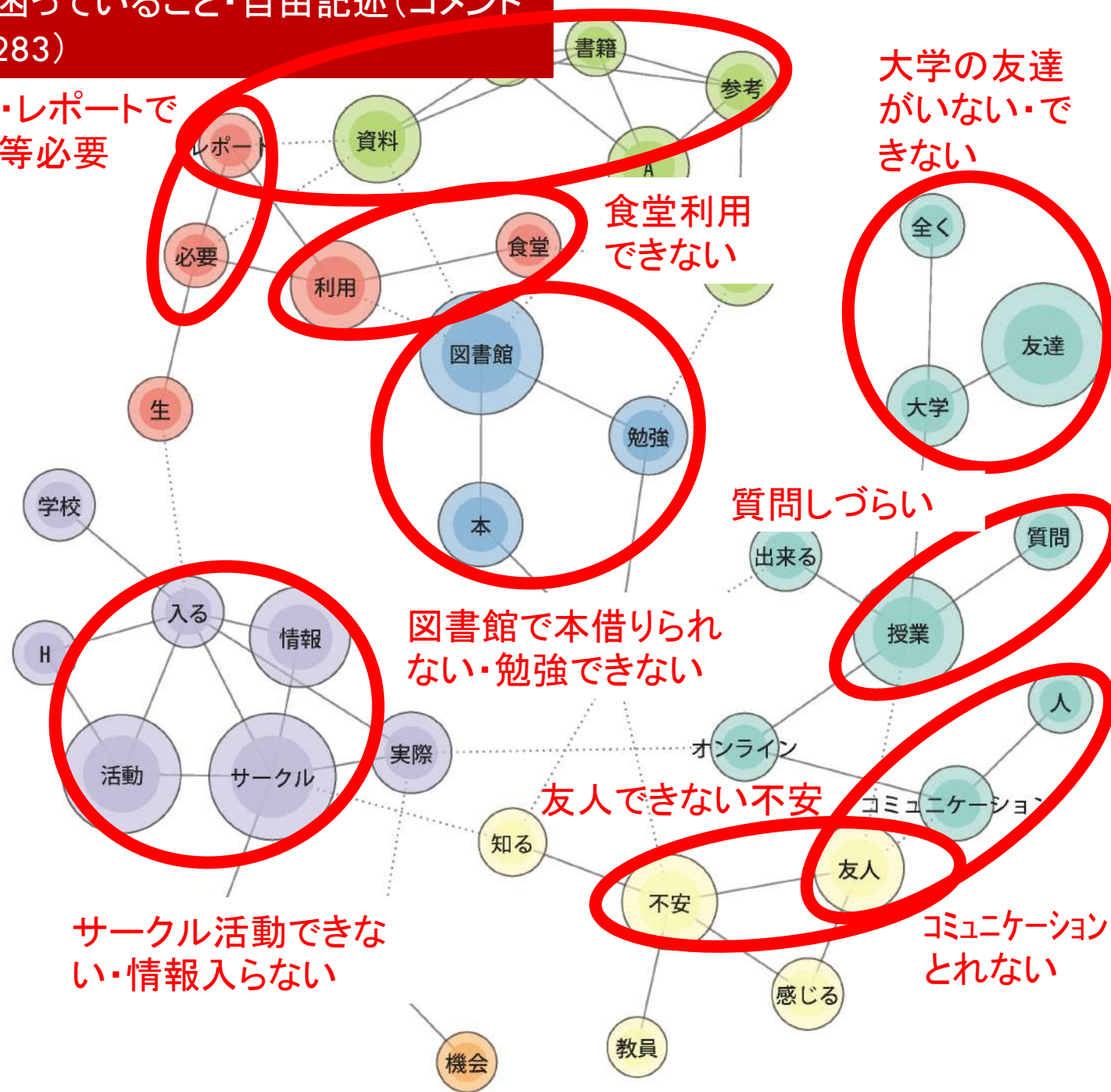
質問しづらい

図書館で本借りられない・勉強できない

友人できない不安

サークル活動できない・情報入らない

コミュニケーションとれない



★円(黒縁)の大きさはコメント中の単語出現数を示す

★円を結ぶ線は共起関係を示す

★赤丸の囲いは共起関係をもとにした人手によるコメント分類

Frequency:

- 10
- 15
- 20
- 25
- 30
- 18

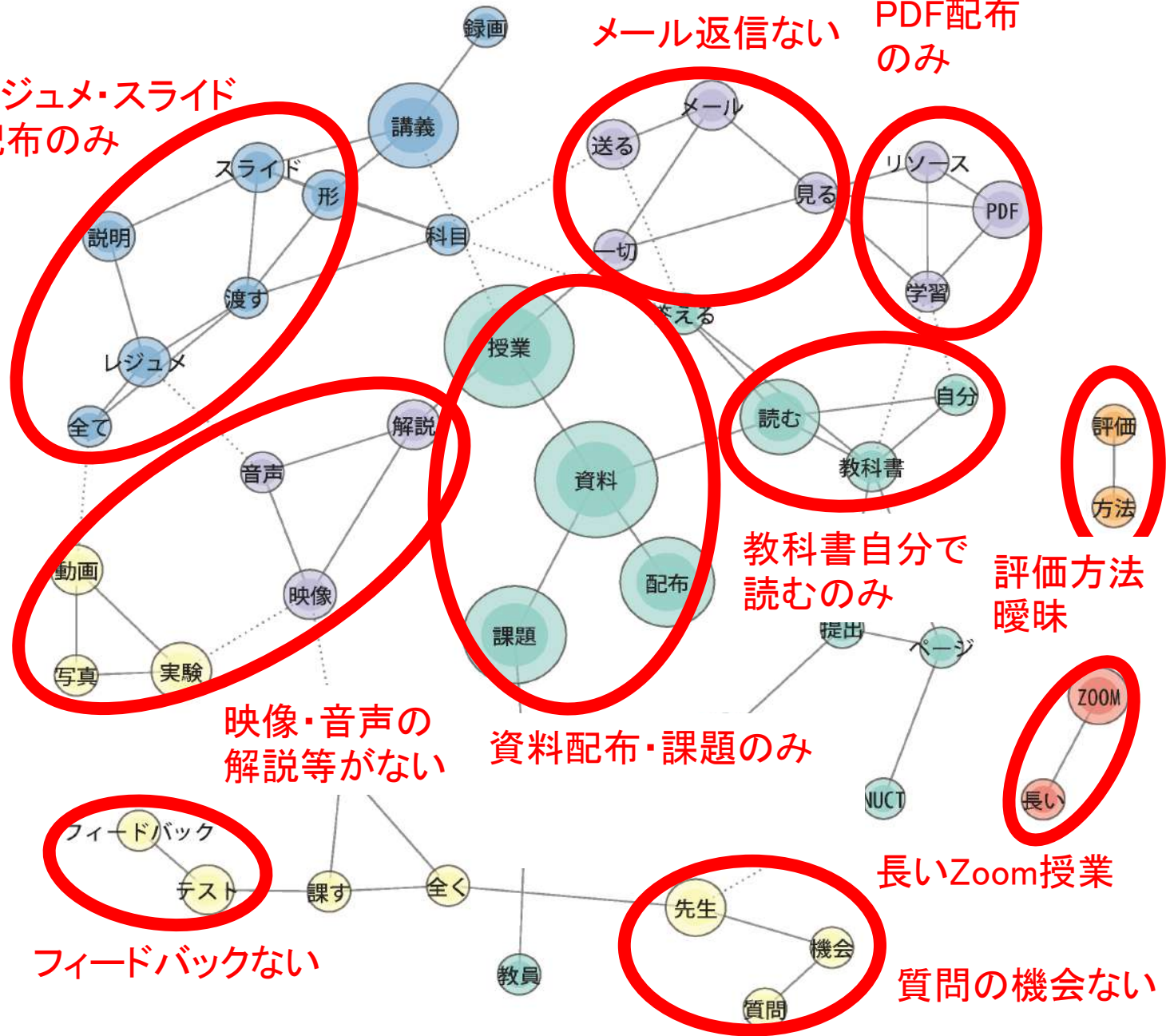
単語出現数スケール

Q9 授業に関する学生の声(否定的意見 コメント数:61)

June 26, 2020

レジュメ・スライド  
配布のみ

メール返信ない  
PDF配布のみ

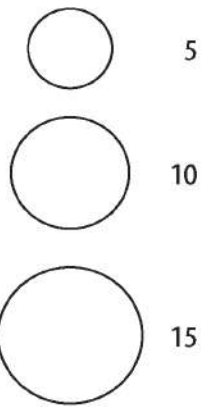


★円(黒縁)の大きさはコメント中の単語出現数を示す

★円を結ぶ線は共起関係を示す

★赤丸の囲いは共起関係をもとにした人手によるコメント分類

Frequency:



単語出現数スケール

フィードバックない

教科書自分で読むのみ

評価方法曖昧

長いZoom授業

質問の機会ない

映像・音声の解説等がない

資料配布・課題のみ